

ねやがわ

令和4年(2022年)2月1日号

No.244

議会だより



スイセン(寝屋川市写真協会提供)

誌面のご案内

定例会のあらまし	1
一般質問	
ねやがわ未来議員団	2・3
公明党市会議員団	4・5
大阪維新の会議員団	5
日本共産党市会議員団	6
無所属議員	6
議決結果一覧	7

12月定例会を開催

- ・令和2年度決算を認定
- ・一般質問で議員17人が登壇
- ・令和3年度寝屋川市一般会計補正予算(第9号)を減額修正

令和3年12月定例会

寝屋川市議会は、11月29日から12月13日までの15日間にわたり、令和3年12月定例会を開催しました。この定例会では、市長から提案された17件の議案のほか、議員が提案した決議1件を審議しました。なお、令和3年度寝屋川市一般会計補正予算（第9号）については、減額修正の上、可決しました。（※下段参照）

また、一般質問は、12月8日・9日・10日の3日間行い、17人の議員が市政について質問しました。

令和2年度決算を認定

9月定例会に提案され、閉会中の継続審査となった、令和2年度一般会計・特別会計・公営企業会計の歳入歳出決算は、10月4日、5日、6日及び13日に開催した予算決算常任委員会での審査を経て、いずれの会計も全会一致で認定しました。

決 議

12月定例会で可決した決議は、次のとおりです。

◆北朝鮮による日本人拉致問題に対する理解を深めるための取組を推進する決議

議案の概要

寝屋川市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

消防団の消防団員の報酬の額の改定等を行うため、一部改正を行うものです。内容は次のとおりです。

○消防団員の年額報酬の額を3万6500円とする。〔現行12万4000円〕

○消防団員の出勤報酬に、「災害に関する場合」における1日当たり8000円の出勤報酬を新設する。

寝屋川市国民健康保険条例の一部改正

国民健康保険法施行令の改正を踏まえ、未就学児の被保険者均等割額を減額することとする等のため、一部改正を行うものです。主な改正内容は次のとおりです。

○出産育児一時金の額を4万8000円とする。〔現行40万4000円〕

○世帯に未就学児がある場合には、当該世帯の世帯主に対して賦課する被保険者均等割額を減額するものとする。

一般会計補正予算

令和3年度一般会計補正予算（第9号）及び（第10号）の主な内容は次のとおりです。

○（仮称）所得減少者支援事業

〔5億7763万円〕

○濃厚接触者等健康観察支援の追加補正

〔4980万円〕

○年少児のインフルエンザワクチンの追加補正

〔接種者に対するクオカード配付〕

〔8050万8000円〕

○高齢者のインフルエンザワクチンの追加補正

〔接種者に対するクオカード配付〕

〔1億4203万5000円〕

○新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業の追加補正

〔5億774万4000円〕

○新型コロナウイルスワクチン接種事業の追加補正

〔3億9576万6000円〕

○子育て世帯への臨時特別給付金

〔16億5000万円〕

※年少児及び高齢者のインフルエンザワクチンの追加補正（接種者に対するクオカード配付）については、全額を減額する修正案が提出され、可決されました。

令和3年度一般会計補正予算（第9号）及び（第10号）は、35億9378万5000円が増額され、令和3年度一般会計予算歳入歳出の総額は、1028億3017万1000円となりました。

ねやがわ未来議員団

「環境問題・福祉・デジタル社会」
次世代の市民に向けた政策提言

北川	光昭
井川	晃一
金子	英生
北川	健治
西尾	勝成
馬場	才
板東	敬治
久野	須賀子
山崎	菊雄
吉羽	美華

カーボンニュートラル・
CO2削減

問 次の施策を提案する。学校グラウンドのナイター設備照明のLED化、南寝屋川公園の野球場のナイター設備照明のLED化、その他照明設備のLED化、見解を伺う。

答 学校の夜間照明設備のLED化について、今後費用対効果など必要な調査を行い、検討していく。南寝屋川公園野球場におけるナイター照明のLED化については、費用対効果を勘案しながら、既存照明機器の更新時期を見据え、切替の時期等、検討していく。その他施設のLED化については、政府が2030年までにLED化100%を目指しており計画的に取り組む課題であり、総合的な観点で検討を進めていく。

コロナ禍における福祉施策

問 コロナ禍で福祉施策においての一番の課題は。また、その課題を克服するための対策は。

答 コロナ禍で人と人とのつながり

が希薄になり、困りごとを抱えている人が孤立している可能性がある。地域のつながりや支え合いを深める必要があると考えている。

スマートシティへの取組

問 「大阪スマートシティ戦略」2025年の本市としてのイメージを具体的にわかりやすく説明を。

答 全ての行政手続をオンラインで完結することが可能で「時間と距離の短縮」が図られる。また、来庁された市民には、デジタル技術を駆使したワンストップサービスが提供されるなど、市民の事情を優先した行政サービスが展開され、進化した「スマート・ねやがわ」が実現されているものと考えている。

問 スマート・ガバメントという庁内に向けた内向きの取組以上に、デジタル技術や関心を持つている企業に参加を願い、意見交換から事業立案・改善まで共に取組む仕組みはどうか。

答 今後、民間企業との連携や、外部の専門的な知見等を参考とした庁

内横断的な議論を深める中で、必要性を含め検討していく。

規制改革・行財政改革の推進

問 国が行っていた手法に倣い、市民・企業・団体などから規制改革・行政改革につながる提案制度を確立し、日常生活や仕事、行政手続きなどへの課題や提案を積極的に募っては。

答 引き続き、企業からの提案や市民の声等を適切に把握し、新たな政策立案等につなげていきたいと考えている。



次世代の市民

災害時の帰宅困難者対策

問 本市における災害時の帰宅困難者数は。また想定発災時刻は。

答 想定人数は、1万9,174人、想定発災時刻は冬季の午後6時。

問 香里園駅前防災ゾーンの鍵の保管等の管理者名と管理者と地域団体との運用についての情報共有の有無は。

答 香里園駅前の防災ゾーンの管理

は大阪府が行っており、地域団体との情報共有は、図られていない。

高齢者被害の特殊詐欺被害対策

問 防災行政無線を通じて振り込め詐欺など注意喚起の啓発活動の放送は可能か。またごみ収集車などから同様のアナウンスを流せないか。

答 防災行政無線やごみ収集車などを活用した啓発活動については、高齢者を中心に特殊詐欺事件が多発していることから、今後検討していく。

問 市として講じている対策は。

女性の貧困対策

問 小中学校の保健室における生理用品配置の利用状況や学校での対応など事業の進捗は。

答 利用状況は、各校の状況によって異なるが適切に利用している。対応については、保健体育の授業や宿泊行事の説明会等で、生理に関する啓発の一環として配布し女子トイレすべてにポスターを掲示するなど、啓発に努めている。

問 今後の生理用品の配布等、女性の貧困に対する支援についての方向性は。

答 女性の貧困に対する支援の方向性については、今回は、安心して学校生活を送れるよう支援する目的で

子どもたちに配布している。

問 生理の貧困で困っている人たちが救いたいのみならず、本市における女性に対する気持ちを表して欲しいと思うが、見解を伺う。

答 大変重要な視点であり、女性がプライドを持ち、自信を持って生きていただく社会が基礎の前提となる。

新型コロナウイルス第五波までの総括

問 本市で人口当たりの感染者が多かった理由、また府内自治体の中でも高齢化率が高いことは認識しているが、それ以上に人口当たりの死者数が多いが要因を検証したのか。

答 感染者数が多い要因は、大都市から波状円状に広がっていくためと考えており、死亡者が多い要因は医療機関や高齢者施設でのクラスターが大きな要因と考えている。

問 高齢者の方はインターネット等で予約が難しいということがあった。3回目接種に向けて、コミセンや市役所で予約の手伝い相談窓口を作ることとは、出来るのか。

答 1回目も2回目も窓口担当職員に協力してもらっていたが、3回目もできるだけわかりやすい形で検討を進めるとともに、窓口職員の協力を考えている。

問 3回目接種に向けて、読み取りエラーが出るなど問題があったタブレットの改善、ワクチン接種記録システムVRSの問題は解決され、順次接種を受けていけるようになってくるのか。

答 デジタル庁からアップデータのプログラム配信もあり改善されている。未入力データの再入力、誤ったデータの修正を行い正確な接種データの反映をしている。2回目接種から期間が経過した人からVRSの実績、予診票の確認により順次、接種券を送付する。

学校の給食と管理

問 小中学校の給食調理場の建設と改修及び増築の補正予算が計上されており、調理方式は親子方式とセーター方式であるが、導入目的は。

答 毎日温かく安全で安心なおいしい中学校給食の提供をすること。

問 楠根小学校にセンター方式給食調理施設、学校と独立した教育機関と位置づけ管理者を置く予定、その管理者が施設及び設備に対する保持を行うとあるが、校長の管理責任が問われることはないとの認識か。

答 楠根小学校に建設予定の給食調理場においては、管理者の設置を予定している。学校内において適正な管理という下においては、施設整備の保持に努めるということについてはその責任者の範囲であると認識している。

教養深いまちづくり

問 市民からの関与を求めず、サービスを提供する行政モデルは、海外では「自動販売機型行政」と言われ、サービスの中身をブラックボックスにし、市民を受動的な消費者として

しまう。市民が主体的に社会課題解決に貢献するための環境整備もこれからの市民との関わりとして重要である。シビックテックの取組についてどのようなことから始めるか。

答 生活に密着した課題解決との親和性が高いことから現在、道路危険箇所や公園遊具破損等の通報等に市公式アプリを活用している。今後、市民自らが取り組んでいただけるようオープンデータを充実させ、様々な分野での活用手法等、検討していく。

私道の整備

問 公共性・必要性の高い本市の私道を、まちの治安・都市格向上の目的で自己負担なし、市の負担で整備しては。

答 現行の地域協働協議会基礎交付金制度による取組の中で、地域の課題等について意見等を伺い進めるとともに、他市の制度等についても引き続き、調査・研究していく。

令和4年度の当初予算に向けた考え

問 駅前庁舎改修工事設計委託について、公共施設等総合管理計画を踏まえた上での検討状況は。

答 現在、想定される来庁者数や、関係課の業務など実務状況を把握する中で配置やレイアウトを検討中。令和4年度当初予算に関連経費を計上することを目的に、準備している。

問 新型コロナウイルス感染症の長期化に伴う病等に対する支援や

後遺症を含め、治癒者や市民の生活習慣の変化等の実態把握と対応策の検討状況についてどう考えているか。

答 うつ病等に対する心のケアを始め、アフターコロナに向けた対応など関係部局において状況を的確に把握し、適切に対応していく。

1 月 臨 時 会 を 開 催

～新型コロナウイルス感染症対応に係る補正予算を可決～



令和4年1月7日（金）に1月臨時会を開催し、国の経済対策における、住民税非課税世帯等に対する1世帯当たり10万円の現金給付（臨時特別給付金）等に係る補正予算を審議し、可決しました。

公明党市会議員団

健康と生命を守り

暮らしに寄り添う施策実現を

村上 順一
池添 義春
岡 由美
高見 雄介
辻谷 恵一
野々下 重夫

孤立・孤独を防ぐ取組について

問 重層的支援整備事業の導入実施への見解は。

答 部局横断的な情報交換などを踏まえ、実施に向け検討を進めていく。

市社会福祉協議会の日常生活自立支援事業について

問 利用希望者の待ち期間が約1年半であることについて市の見解を問う。
答 待機期間の縮小につながる協力方法を市社協と協議していく。

人一倍繊細な子どもHSCについて

問 学校教育におけるHSCへの理解、配慮、支援の今後の取組を問う。
答 今後、対応方法が全小中学校で広がり、家庭や地域の中でも理解され、子どもたちが安心して学ぶことができるよう、取組を進めていく。

HPVワクチン積極的勧奨再開に向けた取組について

問 HPVワクチン（子宮頸がん予防ワクチン）の積極的勧奨再開の国の正式通知を受け、本市の情報提供の方法や機会を逃した方への周知は。



寝屋川市駅前のイルミネーション

まちの賑わい創出について

答 広報誌や市ホームページへの掲載を始め、令和4年4月以降速やかに公費助成の対象者全員に個別通知を送付予定。キャッチアップ制度導入後は、接種対象者全員に確実に情報が届くよう周知していく。

問 文化芸術祭の「ねや市」を見本に産業振興の観点から同様の事業を毎月開催してはどうか。見解を問う。
答 スキームや効果等を検討していく。
問 寝屋川駅前線を活用した「光のイベント」の開催について問う。
答 現在実施されている民間主導のイルミネーションとの連携等を含め、その手法について調査研究していく。

マイナポイント事業について

問 寝屋川版マイナポイント導入について問う。

答 マイナンバーカードへの市独自ポイント付与など今後検討していく。

文化芸術振興の取組について

問 子どもたちが文化芸術に触れる機会の充実を問う。

答 「文化芸術による子供育成総合事業」について、各校への積極的な活用を促し、質の高い文化芸術に触れる機会の提供に努める。

問 文化芸術の振興について市が主体的に取り組むべきと考えるが、見解を問う。

答 市としても積極的に文化芸術の振興に取り組んでいく。

萱島駅高架下について

問 デザインを公募し、駅周辺の活性化を図ることを提案するが見解は。
答 提案の手法を含め、調査研究していく。

寝屋川公園駅前図書館設置について

問 寝屋川公園駅周辺に図書館整備を求めるが、見解を問う。

答 まちづくり事業等を含め、公共施設の今後の在り方を踏まえ、検討していく。

エシカル消費について

問 エシカル消費とは、地域の活性化

化や雇用などを含む、人・社会・環境等に配慮した消費行動のことで、動画やSNSを活用し周知啓発に取り組んでいく必要があるが見解は。

答 多くの消費者が趣旨を理解し、実践してもらうことが重要であり、市ホームページや広報誌・SNS等を活用し周知啓発に努めていく。

問 ペットボトル等のゴミの削減・マイボトル利用促進として公園や市庁舎等に冷水器の設置を求めるが。

答 マイボトル利用促進や熱中症対策等に一定の効果があると認識しており、市民ニーズ等を踏まえ検討する。

問 小中学校や建設予定の学校給食センターから排出される給食残渣について環境教育・リサイクルの観点から堆肥化事業について見解を問う。

答 給食センターにおける調理において発生する、残渣については、ごみ減量・リサイクルの観点を踏まえ給食調理業務の運用と合わせて、環境部と連携し検討していく。

共通投票所の設置について

問 共通投票所（市内のどの投票所でも投票できる）設置の現在の状況は。

答 国において次期選挙システムの標準仕様の検討が進められており、その中で、共通投票所機能についても検討されている。

市公式アプリ「もっと寝屋川」の活用について

問 アプリを活用し水路へのゴミの

投棄や排水口の詰まり等の通報ができるように検討を。

市民からの情報把握に活用できるように、アプリ導入に向け関係課と協議していく。

大阪維新の会議員団

現場目線・市民目線・納税者目線

当たり前の政治を

学校園における コロナ対応について

問 「対応フェーズ」による要請の変更に伴い、市立学校園等・保育所感染に関する対処方針を見直さなかった理由を伺う。

答 市及び教育委員会において子どもたちや保護者の不安等を考慮し総合的に判断した。

問 本市が行ってきた市立学校園等・保育所感染に関する対処方針によって学校現場・保護者・子どもに様々な混乱と子どもの人生に関わる影響を与えたという自覚はあるか。

答 対処方針により事前に方針を示すことで関係者の理解やスムーズな対応を行っていただけのものとして策定した。子どもたちの安全確保のため保護者の皆様に御協力をいただくことはあったが御指摘の内容は聴いておらず、多くの保護者の理解を得ていると認識する。

サポカー補助金について

問 サポカー補助金を創設して頂きたい。見解を問う。

答 大阪府を始め、他市の動向を注視し、検討していく。

オンライン授業について

問 フィルターが容易に解除できることに對してどのような対策を実施したのか伺う。

答 全児童・生徒のタブレットを3日間預かり不正な操作等ができないように緊急のメンテナンスを実施した。

問 オンライン授業の質の向上はどのように図られるのか。

答 研修等を通じた教員の指導力向上とともに、子どもたちの学ぶ姿勢について継続的に指導を行っていく必要があると考える。

『子どもの命を守る』という ことについて

問 教育と福祉の垣根を超え連携を推進すべく現在の監察課を監察局に引き上げること強く要望するが。

答 不登校、児童虐待などへの対応は多くの機関や組織がそれぞれの専

門性を相互に發揮し支援の方向性等の共有を図りながら、緊密に連携して効果的な対策を進めることが重要であり、今後も各部署間で連携を図り適切に取組を進める。

窓口について

問 午後5時半以降については一部完全予約制にするとのことであるが該当する窓口を選定した理由を伺う。

答 1ブース1時間当たりの来庁者数を指標として平日の通常時間帯と延長時間帯の利用状況にかい離が大きい窓口を選定した。完全予約制によりその指標が平準化し効果・効率的な窓口運営となるよう努める。

問 完全予約制の周知をどのように行うのか。

答 市ホームページに掲載するとともに、広報ねやがわ11月号及び12月号において完全予約制となる窓口や予約方法の周知を行っている。



平日夜間の受付が
完全予約制となった窓口

公共施設について

問 これまでの寝屋川市において公共施設の集約化がなされているとは言えない。3年前と比較して公共施設は増えたのか、減ったのか伺う。

答 子育てリフレッシュ館の新設、保健所の移管、電通大駅前キャンパスの取得などにより増加している。

本会議を録画配信しています!

市議会で開かれる本会議の様子は、インターネットで録画配信しています。市議会ホームページの「本会議録画配信」(右のQRコード)から視聴できます。

議会だよりの誌面では、お伝えできなかった議案の審議や一般質問の様子を御覧いただけます。



日本共産党市会議員団

コロナ感染から市民の命と暮らしをまもること

太田 徹
中林 和江

問 第四波の医療崩壊を踏まえ急性期病床の削減はやめること、また、府内の保健所の機能強化を図るよう大阪府に要望することを求める。

答 引き続き、入院体制の確保を求める。また、次の感染拡大に備え、更なる機能強化について要望する。

問 3回目のコロナワクチン接種の集団接種会場の場所や医療機関の公表、スケジュールを早急に市民に周知すること

答 体制を整い次第、広報ねやがわをはじめ、あらゆる媒体において速やかに周知する。



問 特別養護老人ホーム待機者の解消と退職などによる施設利用料の減免制度の創設についての見解は。

答 高齢者保健福祉計画に基づき整備を行うとともに地域包括ケアシステムの構築に向け取り組む。減免制度創設は、現時点では考えておらず、個々の事情を確認し適切に対応する。

問 シングルマザー支援として引越前に貸付金を申請できるような運用がどこまでできるのか。

答 提出書類等は市の裁量が認められる。

問 国民健康保険料の黒字額は負担軽減につながる施策に活用すること

答 実質収支を踏まえ適切に対応する。学校給食の無償化の検討を求める。財源の確保に課題があると認識している。

無所属議員

信念ある行動と政策提案の実現力

森本雄一郎

問 対馬江大利線について、「空間デザイン」の観点から伺う。

答 これからの道路空間は時代と共に変化する社会変容・人間の行動変

対馬江大利線の現在のイメージ図



請願・陳情の提出

市政について意見や要望があるときは、請願書や陳情書を市議会に提出することができます。

請願と意見書の提出を求める内容の陳情には、定例会ごとに提出期限があります。

3月定例会の提出期限は、2月15日（火）の午後5時まで。詳しくは、市議会ホームページ又は議会事務局までお問い合わせください。

容を考慮する必要がある。単に道路を造るのではなく、道路空間のコンセプトが必要。立案しているか。

答 市民プライドにつながるコンセプトとすべきである。

問 対馬江大利線上の大和にあるバス停の看板への落書き等を修繕するよう要望した。改善されているか。

答 既に撤去し、破損箇所の補修についても京阪バスと協議し対応する。

議 会 日 誌

【10月】

11日 議会運営委員会

13日 予算決算常任委員会／全員協議会／公共施設の在り方調査特別委員会

14日 本会議（臨時会）／予算決算常任委員会文教生活分科会／予算決算常任委員会

20日 公共施設の在り方調査特別委員会

29日 公共施設の在り方調査特別委員会

【11月】

5日 議会広報委員会

9日 公共施設の在り方調査特別委員会視察

17日 幹事長会／全員協議会／議員視察（市防災備蓄センター）

24日 全員協議会／議会運営委員会

29日 本会議（第1日）／議会広報委員会

【12月】

30日 健康福祉常任委員会（※）

1日 文教生活常任委員会（※）

2日 総務都市創造常任委員会（※）

（※）各常任委員会終了後に予算決算常任委員会分科会を開催

3日 予算決算常任委員会／議会運営委員会

8日 本会議（第2日）

9日 本会議（第3日）

10日 本会議（第4日）／議会運営委員会

13日 本会議（第5日）／予算決算常任委員会文教生活分科会／予算決算常任委員会

【1月】

6日 議会運営委員会

7日 本会議（臨時会）／予算決算常任委員会健康福祉分科会／予算決算常任委員会

13日 議会広報委員会



12月定例会 議決結果一覧



議案番号	件 名	議決結果
認定第1号	令和2年度寝屋川市一般会計歳入歳出決算認定（審査報告）	認 定
認定第2号	令和2年度寝屋川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定（審査報告）	認 定
認定第3号	令和2年度寝屋川市介護保険特別会計歳入歳出決算認定（審査報告）	認 定
認定第4号	令和2年度寝屋川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定（審査報告）	認 定
認定第5号	令和2年度寝屋川市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算認定（審査報告）	認 定
認定第6号	令和2年度寝屋川市母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計歳入歳出決算認定（審査報告）	認 定
認定第7号	令和2年度寝屋川市水道事業会計決算認定（審査報告）	認 定
認定第8号	令和2年度寝屋川市下水道事業会計決算認定（審査報告）	認 定
議案第63号	寝屋川市個人情報保護条例の一部改正	可 決
議案第64号	寝屋川市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	可 決
議案第65号	寝屋川市国民健康保険条例の一部改正	可 決
議案第66号	寝屋川市有料自転車駐車場条例の一部改正	可 決
議案第67号	寝屋川市立市民体育館条例の一部改正	可 決
議案第68号	令和3年度寝屋川市一般会計補正予算（第9号）	修正可決
議案第69号	令和3年度寝屋川市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可 決
議案第70号	令和3年度寝屋川市介護保険特別会計補正予算（第3号）	可 決
議案第71号	令和3年度寝屋川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可 決
議案第72号	令和3年度寝屋川市水道事業会計補正予算（第1号）	可 決
議案第73号	令和3年度寝屋川市下水道事業会計補正予算（第2号）	可 決
議案第74号	工事請負契約の締結（寝屋川市総合センター解体外工事）	可 決
議案第75号	工事請負契約の締結（寝屋川市第四中学校区小中一貫校施設整備工事）	可 決
議案第76号	工事請負契約の変更	可 決
議案第77号	指定管理者の指定（寝屋川市営住宅）	可 決
議案第78号	指定管理者の指定及び指定管理者の指定期間の変更（寝屋川市有料自転車駐車場）	可 決
議案第79号	令和3年度寝屋川市一般会計補正予算（第10号）	可 決
議員提案第11号	北朝鮮による日本人拉致問題に対する理解を深めるための取組を推進する決議	決 議

※議案内容・議決結果は、市議会ホームページで御覧いただけます。

市議会傍聴に来られる 皆様へのお願い

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市議会傍聴時には、以下のことに御協力をお願いします。

- 消毒液による手指の消毒、マスク着用
- 間隔を空けた傍聴席への着席
（通常よりも席数を減らしており、傍聴できない場合があります。）
- サーモグラフィカメラによる検温
（37.5℃以上の発熱が確認された場合は傍聴をお断りする場合があります。）

3月定例会の日程（予定）

- 2月24日（木）＝ 本会議
 25日（金）＝ 健康福祉常任委員会・分科会
 ※午後2時…文教生活常任委員会・分科会
 28日（月）＝ 総務都市創造常任委員会・分科会
 3月1日（火）＝ 本会議
 7日（月）・8日（火）＝ 本会議（代表質問）
 9日（水）・10日（木）＝ 健康福祉常任委員会・分科会
 14日（月）・15日（火）＝ 文教生活常任委員会・分科会
 16日（水）・17日（木）＝ 総務都市創造常任委員会・分科会
 24日（木）＝ 本会議

◎いずれも午前10時から（2月25日の一部を除く）。
 議事の都合で変更される場合があります。
 ※詳細については、市議会ホームページ
 （右のQRコード）を御覧下さい。

